

ウエストナイル熱・脳炎



- ・ ウエストナイルウイルスが原因の熱性感染症です。このウイルスは、鳥と蚊の間に維持されており、ウエストナイルウイルスを保有する蚊に吸血された際に感染します。北米地域だけで例年数千人の感染者が報告されています。
- ・ 米国での流行は、例年蚊の活動の高くなる7月頃から始まり、年末まで報告が続くのが特徴です。

○発生地域：

アフリカ、欧州南部、中央アジア、西アジア、近年では北米地域、中南米にも拡大している。

○感染経路：

ウイルスを保有した、主にイエカ類に吸血された際に感染する。媒介する蚊は多種類に及ぶ。

○主な症状：

2～14日(通常1日～6日)の潜伏期ののち、発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、背部痛、発疹など。感染者の一部は脳炎を発症し、まれに死亡することがある。

○感染予防：

長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。虫除けローションの使用等によって、屋内のみならず屋外でも蚊に刺されないように注意する。特に、日没後の屋外で蚊に刺されないようにする。室内の蚊の駆除を心がける。

海外では、動物と距離をとろう。

Please Keep Your Distance

※もっと詳しく知りたい方は

厚生労働省「ウエストナイル熱について」

→http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou18/west_nile_fever.html

FORTH/厚生労働省検疫所「ウエストナイル熱」

→<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name29.html>

国立感染症研究所「ウエストナイルウイルス」

→<http://www.nih.go.jp/vir1/NVL/WNVhomepage/WN.html>